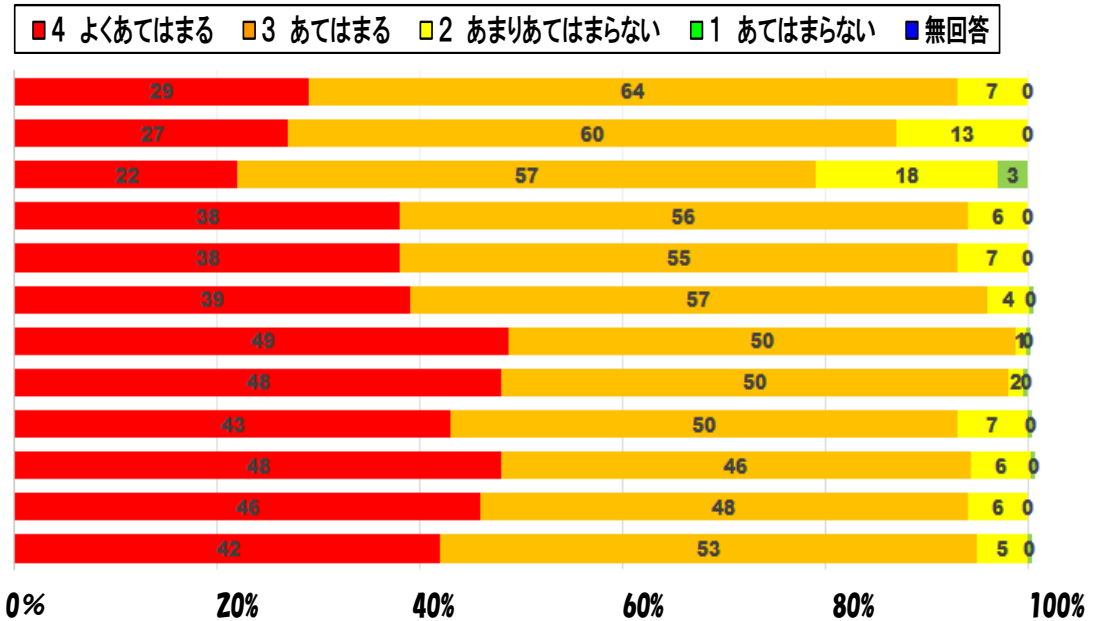


令和 6 年度 学校・子ども・家庭の様子についてのアンケート結果

学校評価へのご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果と、その分析、それをもとに検討した現時点での大まかな来年度の構想をお伝えします。

I 学校の教育活動に関して

設 問	本年度	昨年度	増減
1 教育目標達成の達成に向け取り組んでいる。	3.2	3.3	-0.1
2 タブレット端末等を活用した「対話型授業」や「宿題やり切り」「わく勉」等を行い学力と主体性の向上を図っている。	3.1	3.2	-0.1
3 簡単な英会話力・コミュニケーション力が高まっている。	3.0	3.0	±0
4 いじめ防止のため、早期発見に努め、子ども主体の取組を進めると共に、いじめ発生時は情報収集・指導を行っている。	3.3	3.3	±0
5 意思疎通ができるため、ピア・サポートの取組やコミュニケーションスキルの指導に取り組んでいる。	3.3	3.4	-0.1
6 生活基礎となる挨拶・掃除等や道徳・ルールを守る心・態度を重点的に指導している。	3.4	3.3	+0.1
7 体力づくりや食育を推進し健康な心身を育てている。	3.5	3.5	±0
8 防災意識・危機管理意識の育成のため防災教育を行っている。	3.5	3.5	±0
9 保護者と話したり相談したりする機会をもつようにしている。	3.4	3.5	-0.1
10 学校・学級通信、スマート連絡帳、ホームページ等でよく情報を発信している。	3.4	3.4	±0
11 コミュニティスクールの機能を生かし地域と連携して業務支援等を行い、安心・安全な環境・体制づくりをしている。	3.4	3.4	±0
12 学校はPTAと連携して活動している。	3.4	3.4	±0



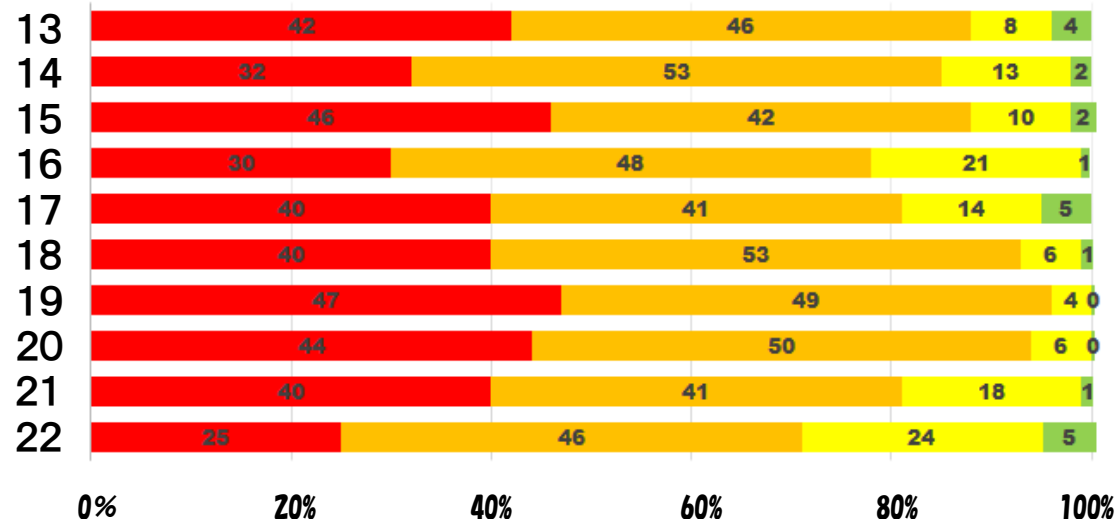
日頃は、華陽小学校の教育活動にご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。今年度は、「華陽 笑・楽・幸(しょう・がっ・こう)」を合言葉に、楽しく学びのある学校教育をめざし、様々な教育活動を積極的に進めてまいりました。教科では算数科の学習を核として、「主体的に考え、豊かに学び合う児童の育成」をめざし、タブレット端末を活用したり、仲間との協働学習の位置づけ方を工夫したりすることで、学び合う活動の充実に努めました。また、外部講師を招聘した総合的な学習の時間やクラブ活動、地域とコラボした地域防災教室、季節毎の文化的行事など、多様な人々とふれあいながら、豊かに学ぶ教育活動にも注力してきました。今年度の教育活動についてアンケートによる評価をお願いしましたところ、のべ242件のご回答いただきました。ありがとうございました。集計結果は上記のとおり数値上は若干の増減があります。具体的なコメントにより、「上の学年の子が優しく接してくれていて、ハートフルな雰囲気子どもたちの姿から伝わってきます」「次の日の準備や宿題などに自分から進んで取り組む力がついてきました」「委員会や学級でのイベントなどに楽しく積極的に取り組んでいるようです」などのご意見をいただきました。一方、「宿題は個々の学力に合わせたものを出してほしいと思います」「授業の様子など、学校側からもっと情報発信してもらえるとありがたいです」など率直な意見もいただきました。保護者の皆様から頂いたご意見ご要望を踏まえ、次年度に向けて改善と充実に努めたいと思います。

※設問 13～22 の結果については裏面をご覧ください。

Ⅱ お子さんの様子に関して（学校や家庭での様子）

設問	本年度	昨年度	増減
13 「自分の学級や学校を楽しんでいる。」	3.3	3.5	-0.2
14 「授業に集中して確かな力を身に付けている」という意識がある。	3.2	3.3	-0.1
15 家庭で「学校のできごとや友達の話」をしている。	3.3	3.3	±0
16 自分の身の回りのことは、自分から進んでいる。	3.1	3.0	+0.1
17 家庭学習（わく勉：2年以上、1年は宿題）を自分の力でやっている。	3.2	3.3	-0.1
18 相手に思いやりの心を持ち、優しい言動で接している。	3.3	3.3	±0
19 「学校での仲間との活動に進んで取り組み、協力・協調して最後まで取り組んでいる。」と意識している。	3.4	3.4	±0
20 「いじめや差別を見逃さず、注意したり大人に知らせたりして加害者・被害者とならず仲間とよりよい生活を送っている」と自覚している。	3.3	3.3	±0
21 日ごろから進んで健康に気を付け体力づくりをしている。	3.2	3.0	+0.2
22 家庭での手伝いをしている。	2.9	2.9	±0

■ 4 よくあてはまる ■ 3 あてはまる ■ 2 あまりあてはまらない ■ 1 あてはまらない ■ 無回答



学習面では、ペアや小集団での話し合い活動を位置付けるなどして、コミュニケーション能力を育成しました。生活面では、互いに認め合える仲間関係づくりのため、「あいさつし隊」「あったかハートりんごの木」などの諸活動を子ども主体で推進し、児童の自己肯定感や自信を高めることに努めてきました。設問の「(13)学校が楽しい」「(18)相手に思いやりの心を持ち、優しい言動で接している」「(19)仲間と協力して最後まで取り組む」について、平均値で3.3ポイント以上の評価をいただいたことは、取組の成果であると考えます。

「(20)いじめや差別を見逃さない」については、学校全体で特に意識をして取り組んできました。いじめを認知した際は、早期の組織対応に努めました。今後も、ご家庭と連携して「いじめや差別を許さない」人権尊重の校風づくりに努めてまいりたいと思います。よろしくをお願いします。

また、今年度は、『家庭学習の手引き』を見直し、宿題は家庭学習として自宅で行うよう指導しました。このことについての評価として、「(17)家庭学習を自分の力でやっている」は、3.2ポイントという結果となり、昨年度より0.1ポイント降下しました。未来を切り拓く子どもたちには、学校をはなれても自ら学びに向かう力が求められています。次年度は、より丁寧に指導し、主体的な学びの育成に努めたいと思います。『家庭学習の手引き』には、「おうちの方へ」の支援のお願いについても記載しております。ご家庭での応援や見届けをお願いします。

<次年度の方向>

保護者の皆様からお寄せいただきましたご意見ご要望、教職員による自己評価をもとに、次年度に向けて次のことについて改善・充実を図りたいと考えております。

○個別最適な学びの実現

○学習規律と、落ち着いて学べる環境づくり

○確かな学力と主体的な学びを育てる家庭学習（宿題と「わく勉」）の在り方

○人権尊重の校風に基づく温かな仲間関係づくり

○児童の活動の様子など家庭に向けての情報配信の在り方
具体的な改善策については、今後、学校だより・学年通信、PTA総会、学級懇談会などを通して、説明させていただく予定です。新年度も、全職員一丸となって取り組んでいきます。今後とも、本校の教育活動に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。